

風疹の届け出数が増加しています!!

先日職員打合せでお知らせしましたとおり、厚生労働省より、風疹届出数が大幅に増加している旨通知があり、全国的に感染が拡大する可能性があるとのこと。通知によると7/23~8/5までに38例の風疹の届け出があり、多くは30代から50代の男性が占めていたとのことでした。

<風疹ワクチンの定期予防接種制度と年齢の関係（平成30年4月1日時点）>

男性	2回個別接種	個別接種（1回） 幼児期に	個別接種（1回） 中学生のときに 医療機関で	1回も接種していない 39歳以上の男性と 56歳以上の女性は 接種の機会なし
女性			中学生のときに学校で 集団接種（1回）	接種なし
	▲ 1歳	▲ 20歳	▲ 30歳	▲ 40歳
誕生日→	28歳 平成2年4月2日生	30歳6ヶ月 昭和62年10月2日生	39歳 昭和54年4月2日生	56歳 昭和37年4月2日生

<任意での風疹予防接種を検討してほしい対象者>

- ① 全国的な流行を阻止するために、特に30代~50代の男性
 - ② 妊婦への感染を防止するために、妊婦の夫、子どもおよびその他の同居家族
 - ③ 10代後半から40代の女性（特に妊娠希望者または妊娠する可能性の高いもの）
- 上記の①~③のうち、以下の項目のいずれにも当てはまらない場合は、任意で風疹の予防注射を受けることを検討してください。
- ・ 明らかに風疹にかかったことがある。
 - ・ 風疹の予防接種を受けたことがある。
 - ・ 風疹に対する抗体が陽性であると確認できている。

<風疹とは>

- 症状：発熱、発疹、首の周りや耳の後ろのリンパ節の腫れ、微熱、咳
- 合併症：数千人に一人の頻度で、脳炎や血小板減少性紫斑病
- 感染しても症状が出ない不顕性感染が約15~30%ある。
- 感染経路：飛沫感染 ○ 潜伏期間：14~23日

先天性風疹症候群とは

妊娠20週頃まで（特に妊娠初期）の女性が風疹ウィルスに感染すると胎児にも感染して、先天性風疹症候群（CRS）という重い病気を発症することがあります。

出産後の赤ちゃんに、心臓病、白内障、難聴、脳性麻痺などの先天異常が起こり、発育発達の遅れをともなって、永久的な障害を残すこともあります。